科目ナンバリング	U-LAS24 20001 SO48						
授業科目名 <英訳>	ロシア語IIＡ R202 Intermediate Russian A			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授　堀口　大樹		
群	外国語科目群	分野(分類)			使用言語	日本語	
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・前期	曜時限	金4	配当学年	２回生以上	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

ロシア語の初級文法を整理するとともに、中級文法を学び、ロシア語の基礎的文法を身に着ける。

[到達目標]

これまでに学んだロシア語の基礎をより強固なものにし、ロシア語のテキストを辞書を使って読めるような、自立したロシア語学習者になる。
またロシア語の基礎を学ぶことで、ロシアの文化や社会に関する基本的な知識を持ち、自分なりのロシア観や、ロシアを考慮に入れた世界情勢を把握する視点を得る。

[授業計画と内容]

初級で学んだ文法事項を確認しながら、ロシアの文化や社会、歴史に関する簡単なテキストの読解のほか、ロシア語作文を行う。

初級で学んだ文法事項に加えて、テキストやロシア語作文を通じて以下の文法事項を学ぶ。

1. 文法総復習
2. 定動詞・不定動詞①
3. 定動詞・不定動詞②
4. 動詞接頭辞①
5. 動詞接頭辞②
6. 無人称述語
7. 義務の表現
8. 文法まとめ
9. 比較級
10. 最上級
11. 関係代名詞①
12. 関係代名詞②
13. 年号、日付
14. 文法まとめ

≪期末試験≫

15. フィードバック

授業14回、期末試験、フィードバック1回とする。

テキストを読む際には、事前に予習が必要である。各自辞書を用いて、単語や表現の意味を調べておく。

発音は極めて重要であるので、教科書の例文などの音読を積極的に行うほか、ロシア語の歌を歌って（音痴でも全く問題なし！）ロシア語の発音に慣れる。

ロシア語IIＡ R202(2)へ続く↓↓↓

ロシア語IIA R202(2)

ロシアの文化や社会に触れるため、視聴覚資料も使う。

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

平常点（50%）：授業を受ける姿勢、課題への取り組み、小テスト
期末試験（50%）

[教科書]

青島陽子、シュラトフ・ヤロスラブ、中野悠希 『ロシア語の世界へ！―初心者の旅―』（朝日出版社）
ロシア語のテキストは授業時にコピーを配布する。

[参考書等]

（参考書）
その他
テキストの予習の必要があるため、露和辞典が必要である。 いくつか例を挙げる。 卓上版：『研究社露和辞典』（研究社）・『博友社ロシア語辞典』（博友社）
ポケット版：『コンサイス露和辞典』（三省堂）・『ロシア語ミニ辞典』（白水社） 電子版：『カシオ電子辞書追加コンテンツ（コンサイス辞典）』（CASIO）
オンライン・アプリ辞書：『ロゴヴィスタ電子辞典（研究社露和・和露辞典』（ロゴヴィスタ）、『物書堂アプリ（プログレッシブロシア語辞典）』（物書堂）

[授業外学修（予習・復習）等]

予習のほか、復習にも力を入れ、授業で習った文法事項や単語・表現を自分のものにするよう努めること。
語学の上達は、授業プラス授業外で日々どれだけその言語に触れているかにかかっている。授業以外にも、インターネットなどでロシア語の音楽やラジオを聴いたり、動画を見たり、ロシア語で書かれたサイトを覗いてみたり（もちろん全部わからなくても大丈夫）、ロシア人留学生と交流するなど、積極的にロシア語に触れてもらう。
またロシアやロシア語圏の文化や社会に対して、常にアンテナを張っていてほしい。

[その他（オフィスアワー等）]